愛道

第97号

発行・平成20年9月1日
社会福祉法人 足羽福祉会

今号のテーマ
「感謝」

・新・旧 理事長挨拶 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2ページ
・思いのこもったぼたもち（足羽利生苑）・・・・・・・・・・・・3ページ
・私たち、就職を目指して頑張っています
　＊就労移行支援事業の取り組み＊（足羽ワークセンター）・・4ページ
・ありがとうございます ～開所30年を迎えて～（愛全園）・・・・5ページ
・みんなで育ち合い 驚き・感動・感謝の楽しい園生活（足羽東保育園）・・6・7ページ
・こんなサービスありますよ －在宅の方をお手伝い－（足羽学園・足羽更生園）・・8・9ページ

利用者の方の手
それぞれに人生の年輪
が刻まれています。
（愛全園）

本年の五月一日付けで、理事会の承認をもって、高村利幸に代わり滝波博純が足羽福祉会理事長に就任いたしました。なお、高村利幸は名誉会長として引き続き法人経営を支えていきます。ここで新旧理事長からご挨拶させていただきます。

退任にあたって

このたび、社会福祉法人足羽福祉会理事長を退任させていただくこととなりました。

平成七年七月に就任いたしまして以来十三年余、皆様方の公私にわたる温かいご指導とお力添えに支えられ、法人創設時の理念「共に生き共に集う光を求めて」を継承し、地域に開かれた、地域に信頼される福祉施設づくりに全力を投入できましたことを改めて深く感謝申し上げます。

今後は皆様方からいただきました数々のご教示を肝に銘じ、これまでの経験を生かしながら、当法人はもとより地域福祉の充実発展に微力を尽くさせていただきながら、有意義な人生を送りたいと念願している次第でございます。今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

未筆ながら皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、退任の挨拶といたします。

平成二十年八月

前理事長
高村利幸

職員と共に

人と人とのつながりを大切に

新任のごあいさつ

憲法二十五条ではすべての国民は健康で文化的な生活を営む権利を有するとされています。さらに国はそのことについて、社会福祉、社会保障の向上、増進に努めるとなっています。ご存じのことと思いますが、この憲法に基づいて児童福祉法をはじめとする福祉に関する制度が設けられていますが、ここ数年、高齢者に向けた老人福祉法、あるいは障害者に向けた障害者福祉法が大きく変わってきています。

社会福祉の複雑化、多様化が進む中、我々社会福祉法人には公共性、公益性、持続可能性の高い社会的な責任を果たす必要性が強く求められてきているところです。信頼性、透明性への体質、推進が必要とされていると思います。

改めて言うまでもなく、社会福祉の存続発展のための正しい判断と進むべく道筋をしっかり見極め、使命、目標に向かって着実な役割を果たしていかなければならないと思っています。

利用者の方々からはもちろん、地域の人たちから求められている、生活上欠くことのできない福祉サービスについて、信頼できること（安心して利用できること）をしっかり、実践によって証左し、さらに高めていかなければならないところです。

これからも永久に必要とされる福祉は、人と人とのつながり、信頼が一番大事なことと思っています。すなわち人間力、人の力によるところが大きいものです。気づき、心遣い、思いやり、私たち福祉従事者として、しっかりこのことを実践し、利用者の方々、地域の皆様方そして関係者の方々のご理解、ご協力をいただきながら、よりよい福祉向上を進めてまいります。どうぞよろしくお願いします。

平成二十年八月

理事長
滝波博純

思いのこもったぼたもち

足羽利生苑に入所されている宮本ときをさんは甘いものが大好物です。長男の幸保（ゆきやす）さんが持ってきてくれるぼたもちを、いつもおいしそうに食べています。

宮本さんは、二年前には「もう長くないだろう」と言われるほど体力が落ちていました。その宮本さんが元気を取り戻されたのは、幸保さんの差し入れがきっかけでした。

今回は、そのいきさつと幸保さんの思いを紹介します。

平成十八年九月ごろ、宮本さんは終末期を迎え、元気がなく食欲も落ちてきました。幸保さんはどう接すればいいか考えた結果、好物のぼたもちを毎日食べてもらうことにしました。昔から甘いものが好きだった宮本さんに、できるだけ好きなものを食べてもらい喜んでほしいという思いからでした。

宮本さんは「うまいんやわ」とおいしそうにぼたもちを食べ、とてもうれしそうな表情を浮かべていました。

その後、おいしいぼたもちを食べたことによって元気が出てきたのか、宮本さんはどんどん回復してきました。職員が声かけするとしっかりと返事をしてくれるようになりました。

満面の笑顔の宮本さん

それからも、幸保さんはまめにぼたもちを持ってきてくださり、宮本さんも喜んでそれを食べる日々が続きました。一時は終末期だと言われていた宮本さんですが、すっかり体力を取り戻されました。

今年、宮本さんは白寿（九十九歳）を迎えられ、幸保さんもたいへん喜んでいらっしゃいます。

幸保さんの言葉

白寿

最初に、あと三ヶ月ぐらいでお迎えが来ると言われたときは、どうすればいいかわかりませんでした。そこで、いろいろな人に相談して、ぼたもちを食べてもらうことにしました。

たくさんの人たちが助けてくださったおかげで、母はこのたび白寿を迎えることができました。母は、かかわりを持ってくれる人たちに囲まれて、とても恵まれた環境にいると思います。職員の皆さんは母や私のことを気遣ってかかわってくださるので、とてもありがたいです。

もう少しで玄孫（やしゃご）（ひ孫の子ども）が生まれるので、それまでは頑張って生きていてほしいです。母と一緒に私も頑張っていきたいと思います。

幸保さんと宮本さん

今回の宮本さんの場合は、昔から好きだったぼたもちと親を思う幸保さんの気持ちが、回復につながる大きな力になったと思います。その方の好きなこと・望むことを知り支援に生かしていくことが、元気に長生きしていただくためには欠かせないと学ばせていただきました。

今後ともご本人やご家族とのコミュニケーションを密にしてその方のことをよく知り、利用者の方の人生を尊重した支援を提供していけるように努めさせていただきます。

「食欲の秋」

足羽福祉会 食欲の秋 足羽利生苑編

今回は足羽利生苑でのホットケーキ作りの様子を紹介します。

粉と牛乳と卵をよくかき混ぜます。

よく焼きます。ひっくり返すときが腕の見せどころです。

出来上がりました。とてもおいしそうですね。

やっぱり手作りおやつはおいしいですね。

私たち、就職を目指して頑張っています

＊就労移行支援事業の取り組み＊

足羽ワークセンターは、平成二十年四月一日より、利用者の方の障害程度や能力に合わせて多様なサービスで支援を行う、多機能型事業所に移行しました。

当センターは「就労継続支援事業」「就労移行支援事業」「自立訓練」「生活介護」などの体系に分かれました。今回は、給食センターでの就労を目指して頑張っている「就労移行支援事業」を利用されている方の様子を紹介します。

実習中の支援とは？

「就労移行支援事業」とは、就労を目指している障害者の方に対して、個別支援計画に基づいた作業訓練や、日常生活の支援を通し、二年間で円滑に就労ができるようにサポートをする事業です。現在は、この事業を利用されている二十名のうち五名が、来年度から本格的に稼動予定の給食センターの厨房で、就労を目指して頑張っています。

この五名の方は、午前の実習で、足羽ワークセンター内で提供する昼食のほか、配達弁当の盛り付けや注文数の確認などを行います。栄養士や調理員の指示のもと、決められた時間内に盛り付けや配膳を終えられるように取り組んでいます。

午後からは、昼食後に下膳された施設内の食器や、配達先から返却された弁当箱の洗浄作業が主となります。食器洗浄作業の他にも、食堂や厨房内の清掃も大切な実習の一つとして取り組んでいます。

食品を扱う厨房の実習は、作業場で取り組んでいる作業と違い、衛生面や食の安全面で問題がないか、各工程での支援がとても大切です。栄養士・調理員たちも厳しくチェックをしながら支援をしています。

真剣に盛り付けしてます

丁寧に洗えてます

職員も付き添う形で実習の状況を確認します。実習中、利用者の方が不安に思うことがあれば、安定して実習が継続できるよう、相談や助言を行っています。

実習で経験を積んで…

厨房で実習をしている五名の方の中には、この実習が始まる前までは、職員からの指示がないと報告や連絡が難しく、支援を受けて行動をするという方がいました。積極的に作業に取り組むことが難しく、遅刻や欠勤が続いた方もいました。しかし、今は「給食センターで就職をして、もっと頑張りたい！」という気持ちが強くなり、朝の出勤時間に遅れることなく、積極的に実習される姿が見られるようになりました。

今後、配食サービスのほかにもイベント出店や販売会など、ますます忙しくなる給食センターの厨房ですが、利用者の方が実習で培った経験を生かして、作業面・生活面でも力が発揮されるように支援をしていきたいと思います。また、給食センターで就労ができるよう、職員をはじめ、栄養士や調理員も、全力でサポートをしていきたいと思います。

♥厨房での実習は楽しいです。洗い物をしたりふきんで拭いたり…。忙しいけど、ぼちぼち頑張ります。

利用者・Sさんより

♥お弁当箱や食器の洗い物が大変です。盛り付けは一回してみて楽しかったです。調理員を目指して頑張ります。

利用者・Tさんより

♥厨房が新しくなったので、みんな楽しそうに実習をしています。手の動きもスムーズになりました。

増山調理員より

足羽ワークセンター編

おいしい食事、いただきま～す！

「食欲の秋」

おいしいと自然と笑顔に…

肉だんごおいしい！

次はどれを食べようかな？

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）**愛　全　園**

ありがとうございます
～開所三十年を迎えて～

昭和五十四年に開所した愛全園、おかげさまで三十周年を迎えることができました。
多くの皆さまに支えられて歩んできた道のりを感謝と共につづります。

愛全園は、今年三十周年を迎えます。開所当時、幼児教育や障害福祉が専門だった職員は、老人福祉の知識が乏しくて、最初は掃除、洗濯、食事といった生活介助に右往左往する毎日だったような気がします。

日を追うごとに利用者の方が増えていく中で、私たちは認知症の方への対応という課題に直面することとなりました。

ある時は、夕食を食べたことを忘れ、まだ食べていないと訴え続ける利用者の方に、夜勤者が夜食のパンを渡すと「あんたも一緒に食べね」と優しい言葉が返ってきました。

またある時は、なかなか寝付けず、大声を出して廊下や居室内を歩き回る利用者の方を添い寝したこともありました。その方は「いい子、いい子」とおっしゃいながらお子さんの名前を呼び、職員の手をさすっておられました。

このように、毎日が新たな発見の連続でした。利用者の方は弱者だと決めつけられがちですが、人生の先輩として尊重し、触れ合うことの大切さを強く学んだころでした。

楽しい会話が弾んでいました。

平成十二年四月、介護保険が導入されてからは、職員の仕事の質や人間性、コミュニケーションの大切さが一層注目されるようになりました。

刻々と変化し続ける社会情勢の中で、私たちは開所当時に学んだ、語りかけ歩み寄る、という寄り添いの姿勢を大切に受け継いできました。この精神は愛全園の伝統というべきものであり、いかなる時代にも必要なことだと確信しています。

利用者の方への寄り添いを考えるうえで、ご家族の存在は不可欠です。今に至るまでの長い歴史や記憶などを聴かせていただき、介護に反映させるよう取り組んできました。入所されても、ご家族との絆を大切に考え、コミュニケーションを欠かさないよう心がけています。

開所当時の愛全園

愛全園も地域の中にある一つの施設です。ボランティアさんをはじめ、地域の方々など本当に多くの人に支えられています。当園行事への協力、地域でのイベント招待や普段の生活場面でのお手伝いなど、さまざまな活動を通して、地域の中の地域に開かれた施設として育てていただきました。

これからも皆さまに支えられながら、より明るく、楽しい愛全園にしていきたいと思います。

愛全園事務課長　林　好美

園訓

一、その人の生き方に尊敬を
一、命の尊さを念頭に
一、その人への笑顔を忘れずに
一、心の込もった言葉と表情を
最善を尽くすことに、誇りを持ちましょう。

「食欲の秋」

愛全園編

皆さんの「おいしい」表情を集めてみました。

みんなで育ち合い

驚き・感動・感謝の楽しい園生活

二歳で入園したＳ君は、今年の三月卒園されました。
卒園にあたりお母様から感謝の手紙が届きました。

無事卒園を迎えられること、うれしく思います。

思い起こせば、初めは他人に触れられることも構われるのも嫌で、常に一人で行動していたＳ。先生方にとっても扱いにくい子どもだったと思います。なぜだか分からず、家でも私以外になつかず、どうしたんだと悩みました。自閉症と分かって、そうだったのかと頭を切り替え頑張ってきましたが、一人ではやはり難しく、途方に暮れることもしばしば。周りは頑張ってと言ってくれますが「私頑張っているんだけど、まだ足りない？」と落ち込んだときもありました。

そんなとき、先生方はいつも「お母さん、一緒に頑張りましょう。」と、一人で頑張らなくてもいいと励まして下さいました。それがどんなに私の力になったことか…。心が軽くなり、また頑張ろうと力が湧いてきました。Ｓがどんな態度でも先生方は決して投げ出さず、根気よく接してくださる姿を見て、涙が出ました。

私はＳを「かわいそう」だと思ったことはありません。しかし、周りは「変な子」とか「かわいそう」という目で見て、私はその人の方がかわいそうだと思っていました。でも保育園では特別視することも、仲間はずれにすることもなく、いつもどのお友達も優しく、また、私を見つけると「今日のＳ君」を報告してくれ、本当に恵まれているなと思いました。先生方のご指導のおかげだと思っています。

Ｓのために一人先生を増やしてくださったり、療育センターでの会合に出席してくださったりして、療育センターで会ったお母さん方によくうらやましがられました。先生方のおかげで、Ｓもものすごく成長し、今では少しですが自分の欲求以外の会話もできるようになりました。毎日が発見で、毎日楽しいです。

これから一年生になり、周りが同じような子どもたちの中で、うまくやっていけるか心配ですが、今後は養護学校の先生方ともいい関係になれたらいいなと思います。

この先まだまだいろんなことがありそうですが、一つ一つチャレンジして、一つ一つ解決して進んでいきたいと思います。Ｓを受け入れてくださり、いろいろなご指導していただき本当にありがとうございました。

心より、感謝致します。

みんなで頑張ったお泊り会

Ｓ君とのかかわりに悩んだ日々

Ｓ君と子どもたちと保育士との保育園生活は、いつも思いを伝えあいながらかかわっていました。

また、職員も子どもたちの様子から、保育の原点を学びました。

今回はみんなの心の育ち合いをお伝えしたいと思います。

Ｓ君が卒園するまでに〝自分のことは自分でできるように〟との目標を立て取り組み

足羽東保育園編

好きな給食なあに？

毎日、子どもたちが楽しみにしている給食の中で、好きな献立を紹介します。

「食欲の秋」

＊コロッケ
おいもが好きだから

＊白ご飯
自分でかしいだご飯はおいしいから

ました。しかし、職員が力を入れてかかわるほど、S君は嫌がり「あっちいって」と拒絶され「どう接すればいいのか」と悩み葛藤を繰り返す日が続きました。

ある時、子どもたちとS君のかかわりをみながら、ハッとしました。私はS君の思いを受け止めていただろうか？S君のためにと思ってしたことが心の負担になっていたのではないかと気付き、肩の力がスッと抜けました。

S君は私を拒みながら心地良いかかわりとは〝その人の思いをありのまま受け入れること、あれもこれもと自分の思いを押し付けないこと〟ということを、身をもって教えてくれました。

竹馬に挑戦

発表会で突然の出来事

発表会の練習でS君のまりが転がり、他の組の子が笑ったとき、Nちゃんが「笑わんといて！」と叫んだのです。

川遊び、楽しいな

そしてS君に向かって『頑張って。』と励ましました。他の子にもNちゃんの必死の気持ちが伝わって『頑張って』の大合唱となり、私はS君を思うNちゃんの気持ちに圧倒されました。この出来事は今でも私の心に深く刻まれています。

願いを込めてS君を見守り、頑張る気持ちに応援を送って、できたときは心の底から喜び合う子どもたちを見て、相手を思いやる優しい心がこんなにも育っていたのだと、改めてS君と子どもたちのかかわりに尊さを感じました。

S君の変化に思わず涙

ある日、私は感動の余り思わず涙が溢れ出たことがありました。それは子どものけんかで、相手を傷つけたことを叱ったときのこと。突然S君が私の口を押さえ「怒らんといて。先生ダメ」と私を叱り、友達一人ひとりに「大丈夫？どうしたの？」と声をかけながら頭をなでていたことです。

S君と子どもたちの保育園生活で、お互いが育ち合う温かい心に何度も触れ、私は目に見えない心や、言葉に表れてこない思いの中に子どもの気持ちがあることを、改めて教えられました。

お母様から教えられたこと

お母様はいつもS君を周りの子と比べることなく、障害も一つの個性と捉え、S君自身を見て、日々、小さな成長も大きな喜びに変えておられました。またS君との時間をとても大切にされ、遊ぶときにはS君が満足するまでかかわって遊んでおられました。

みんなの前で発表

S君ピカピカの一年生 小学校での再会

私は、S君を限りなく愛するお母様の気持ちに触れ、子どもは母親の深い愛情の中で育っていくことを改めて知らされました。また、この、お母様の温もりがあったからこそ、こんなにも成長したのだと思いました。

S君の卒園後、五月に小学校を訪問しました。再会したときのS君は「かな先生」と変わらない笑顔で声をかけてくれ、一段と頼もしく成長していました。また、友達と生き生きと遊び合う姿に、うれしさがこみ上げてきました。

後にお母様から、『かな先生、明日も来るかな』とS君が言っていたことをお聞きし、とても嬉しく思いました。これからも心の交流を深めていこうと思います。

足羽東保育園
保育士　吉田　圭那

「食欲の秋」

＊スティックきゅうり

自分で畑で採ったから

＊ハヤシライス

味が好きだから

＊全部好き

給食おいしいから

こんなサービス

足羽学園では開園当初より、四十年余り入所事業と在宅の方に対する短期入所事業を行なってきました。平成十九年度より短期入所事業（宿泊での利用）と日中一時支援事業（日帰りでの利用）に利用の仕方が区別され、現在ではたくさんの在宅の方にご利用いただいています。

今回は足羽学園の日中一時支援事業における活動や利用者の様子、ご家族の声を紹介したいと思います。

日中一時支援事業とは？

在宅で障害児（者）を介護しているご家族が、お仕事や冠婚葬祭などで、介護ができないときに、お子様をお預かりし、そのご家族の負担軽減を図る事業です。

ご家族の声

どの様な理由でご利用いただいていますか？

◎将来のこと（親が病気になったらなど）を考えて、少しでも子どものことを理解してもらい、安心して見ていただけるから。

◎仕事をしているので、介護できないときや、子どもを連れて行けないような用事があるときに利用しています。

◎家族以外の人（友だち）と交流させたいから。

◎今回初めて夏休みに利用させてもらうのですが、家にいるときよりも、プールやトランポリンといった楽しいことがたくさんありそうで楽しみにしています。

とっても広いな～!!

ご家族にとって日中一時支援はどのような存在ですか？

◎仕事を続けていくため（生活していくため）になくてはならないサービスです。また障害のある子を育てていくときに自分の心に余裕を持たせてくれる、困っているときに安心して預けられる存在です。

◎丁寧に見てくださっているので、安心して預けることができてとても助かる。

◎足羽学園はこちらの要望通りの時間で利用できるので、今後もお願いしたいです。

利用者の様子

日中一時支援を利用されているMさんは、ほぼ毎日、下校後から、ご家族が仕事を終えてお迎えに来るまでの間を足羽学園で過ごしています。

大好きなキャラクターのビデオを観て歓声を上げたり、広い施設内を走り回ったりして、お家に帰るとバタンキューとお休みになるそうです。

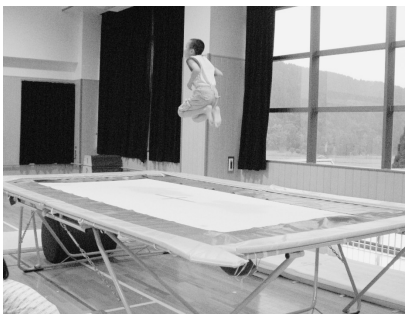
足羽学園日中一時支援担当者より

平成十九年度に送迎サービスを開始してからは、平日のご利用も増えて、平均延べ人数が百十人余り（月毎）となっています。

利用者の方が楽しく過ごしていただくために、さまざまな活動内容を考えています。また、音楽療法やトイレットトレーニングなどの療育支援を取り入れるなどして、他には無いサービスを提供し、事業の充実に励んでいます。

施設外での活動も積極的に取り入れて、ドライブや天気の良い日には散歩に出かけます。長期休みにはお弁当やおやつを持って近くの公園や朝倉氏遺跡、羽生（はにゅう）の郷（さと）にも行きます。

また、体育館にある大きなトランポリンも足羽学園の魅力の一つだと思います。ご家族からも「子どもがトランポリンを気に入った」とのお声をいただいています。



空まで飛べそう!!

日中一時支援事業を利用される方にとって足羽学園が「楽しいところ」と感じていただけるように、今後も充実した支援を考えていきたいと思います。

足羽学園日中一時支援担当
佐々木　知亜樹

「食欲の秋」

足羽学園・足羽更生園編

喫茶「銀河」人気メニュー紹介

＊フロート＊

・クリームソーダ
・コーヒーフロート
・コーラフロート

ジュースとアイスクリームが一度に楽しめます!!

＊ホットコーヒー＊

ドリップで煎れた本格コーヒー

コーヒーはホッとするね☆

ありますよ
～在宅の方をお手伝い～

足羽更生園では知的障害者の方八十三名が施設入所サービスを受けておられます。（平成二十年四月現在）

その他に在宅支援事業サービスとして、日中一時支援事業、短期入所事業、相談支援事業があり、在宅で生活されている障害者の方の支援を行っています。利用者の方は希望により、作業活動やグループ活動、行事などに参加していただくことができます。

今回は在宅支援事業を利用されている方の様子について紹介します。

利用されることになった経緯

現在、在宅で生活されているHさんは、足羽更生園の日中一時支援を利用されています。

Hさんはご両親が亡くなられたあと、しばらく一人暮らしをされていました。その後、体調を崩し、病院に入院されていましたが、退院後の生活が一人では不安なため、足羽更生園への入所を希望されました。足羽更生園での生活に慣れるため、数日間、短期入所支援を利用されました。日中は「羽生の郷」（園外の活動場所）に行き、マット編みをして過ごし、夜間は他の利用者の方とお風呂に入ったり、テレビを見たりして過ごされました。

その後、改めて本人に退院後の希望を確認したところ、ご両親が残された家で生活したいという思いがあり、ご家族もその望みをかなえたいと思われていることがわかりました。Hさんのご家族は県外に住んでいらっしゃるため、再び一人暮らしをすることになりました。在宅での生活を実現するため、いろいろなサービスを受けることになり、足羽更生園としては日中一時支援事業を利用していただき、日中活動の場を提供することになりました。

Hさんの一日

月～金曜日の朝、路線バスで足羽更生園に来園され、園のバスで「羽生の郷」に他の利用者と一緒に行かれています。「羽生の郷」ではマット編みをし、自ら糸を選び、柄を決めるなど自主的に作業をされています。昼食時や昼休みには、他の利用者の方々や職員との会話を楽しまれています。帰宅は園が送迎をしていますが、徐々に路線バスでの帰宅を目指しています。帰宅後、週2回ずつホームヘルパーと病院の職員が買い物や食事などのサポートをしています。土曜日には病院での自立訓練を受けられ、料理を習うなどしておられるようです。

真剣にマット編みをするHさん

その後の様子

足羽更生園では、Hさんから利用者の方や職員に話しかけて来られることも増え、「羽生の郷」で編んでいたマットが仕上がったときには、マットをホームヘルパーや病院の職員に見せて回られるほど喜んでいました。

私たち職員もHさんが望む生活をサポートすることができて、とてもうれしく思います。

みんなと食べるお弁当はおいしいね

足羽更生園では「羽生の郷」が平成十九年九月に開所したことで、日中活動の場が広がり、在宅の障害者の方へも提供できる日中活動が増えました。

これからも在宅の障害者の方々のニーズに合った活動を提案し、地域での生活を支援していきたいと思います。

「食欲の秋」

＊アイスクリーム＊
バニラとココアの2色盛り

一年中、いつ食べてもおいしい。みんな大好き!!

皆さんもぜひご利用ください！

在宅支援事業についてのお問い合わせ

足羽学園・足羽更生園

〒910-2143 福井市宿布町19－46－1
TEL：0776－41－3120
FAX：0776－41－3492
柴田まで

みんなの広場

敬称略させていただきました。

新人さんの声

四月に足羽学園に配属されてから三ヵ月がたちました。

利用者の名前や性格を知ることから始まり、仕事を覚えることに必死でした。毎日が長くも短くも感じられ、家に帰ると寝ることしか考えていない私がいました。

今では多少の余裕も出て、利用者の方の純粋な心とふれ合いながら、いやされることが多くなってきました。辛いことがあっても、利用者の笑顔を見ると元気をもらい「頑張ろう！」と思えます。

これからも初心を忘れず、利用者の心をいやすことができる職員になりたいです。

足羽学園
江上　千賀子

＊こんなお言葉をいただきました＊

日中一時支援事業に加えて、ショートステイも利用することになりました。

最初は『初めて利用するけど、大丈夫かなぁ…』と不安感もありましたが、子ども本人は修学旅行気分で喜んで足羽ワークセンターを週末に利用しています。

ちょうど義父の入院とも重なり、ショートステイがなかったら義父の介護も容易ではなかったと思っています。

足羽ワークセンターで過ごす時間は、他の利用者の方たちとの触れ合いなどが子どもにはとても楽しいようで、帰り道の車中で、色々と出来事を話してくれます。

やっと義父も退院し、週末には保護者の私も〝ゆとりの時間〟が作れるようになりました。それが、私にとってはとてもうれしいプレゼントです。今までは、毎日が時間に追われるような生活でしたから…。

また、日中一時支援事業の方では、生活面の他に、スタッフの方より学校の課題もお世話になり、とても助かっております。何よりもお迎えに行った時のスタッフの方の笑顔にはとても勇気付けられます。

そして、愛道の記事では、色々な自立支援の世界を知りました。特に九十六号の『地域で自立した生活を』を読んで、利用者の方やスタッフの方々の努力をとても感じました。

子ども自身も成長し、少しでも自立した生活ができるようになることを願っております。

最後に、日中一時支援事業・ショートステイのスタッフの方々には心より感謝しております。

日中一時支援事業を利用している保護者より

※足羽ワークセンターでも日中一時支援事業を行っています。

おばあちゃんのちえぶくろ　靴下のにおい消し

靴下のにおいはとても気になりますし、古くなればなるほど、どんどんにおいが強くなっていきます。

そんな靴下のにおいを防ぐには、靴下を洗濯する前に、酢水（水に少量の酢を落としたもの）にしばらくつけておくと効果的です。酢には殺菌効果があるため、嫌なにおいを消してくれるのです。

靴下のにおいが気になる方は、ぜひ試してみてください。

愛全園の

味自慢　イワシのショウガ煮

《材　料》

	♥イワシ	１尾
A	♥ショウガ（スライス）	２～３枚
A	♥梅干し	１個
A	♥砂糖	小さじ２
A	♥酒	大さじ２
A	♥しょうゆ	大さじ２
A	♥みりん	大さじ１
A	♥酢	小さじ２弱
A	♥だし汁	50ml
	♥ショウガ（千切り）	少々

《作り方》

①　イワシの頭と内臓を取ります。

②　鍋にＡを入れ、煮立てます。

③　イワシを入れ、落し蓋をし、弱火でコトコト煮ます。

皿に盛り付け、ショウガの千切りを添えて出来上がり！

イワシを煮るときは、五～六尾一緒に煮たほうがおいしく煮えます。酢を入れることでイワシ独特の臭みを消すことができ、骨まで柔らかく煮えます。

カルシウムたっぷり！皆さんもいかがですか？

こんな人みーつけた

～夢は果てしなく、食への道ひとすじ～

食育インストラクターの資格を取得された、足羽東保育園の島崎調理員に、インタビューをしました。

なぜ、食育インストラクターの資格を取得したのですか？

自分の前に並べられた給食を見て笑顔のなくなる子や、いやいや食べている子を見て、何とかして子どもたちに楽しく給食を食べて欲しいと思いました。そのために、自分は何をしたらよいかと考え、もっと自分に力をつけて、子どもに楽しく食べてほしいと思う心から挑戦しました。

資格をとる際、努力されたことはなんですか？

テキストを全部読まなければ内容を理解することができませんでした。そこで、少しの時間でも大切にし、テキストを何度も読み込みました。

今後、保育園で資格を活かし、どのような取り組みをされていこうと思っていますか？

この資格があれば、大好きな子どもたちとずっとかかわりを持つことができ、地域の方たちの役に立てると思います。

子どもたちが食ということに関心を持てるような食体験を取り入れていきたいです。継続して『触れる・見る・育てる・切ったり作ったりする』活動を多く取り入れ、園の目標である楽しく食べる子を育て、食に関心の持てる子どもを育てたいと思います。

お集まりで食育のかみしばい

ボランティアさん募集

足羽更生園では毎週日曜日の午後二時から四時の間（月の初めの日曜日は午前十時から午後四時の間）に喫茶「銀河」を開店しています。お手伝いをしてくださるボランティアさんを募集しています。

《主な仕事》

・利用者の方から注文を聞く
・飲み物やアイスクリームを盛り付ける
・注文の品を利用者の方へ届ける
・食器を洗うなどの後片付けをする

などです。

詳しくは担当者までお問い合わせください。

お問合せ先
ＴＥＬ（０７７６）４１―３１２０
銀河・ボランティア担当
宮下・谷口まで

できごとアラカルト

家族一泊旅行

<足羽更生園>

六月十八・十九日、いしかわ動物園やふれあい昆虫館に行ってきました。
夜は山代温泉「雄山閣」に泊まり、宴会や温泉を楽しみました。家族とのふれあいにみんな満足し、笑顔でした。

動物園でお姉さんとパチリ☆
後ろにキリンの親子がいました

バーベキュー

<足羽ワークセンター>

七月十九日、小次郎の里にてバーベキューを行いました。みんなで焼いて、お腹いっぱい食べました。

早く焼けないかな！

スイカ割り

<足羽利生苑>

七月、一乗滝までスイカ割りをしに行きました。滝のそばは涼しく、スイカもとてもおいしかったです。

力いっぱい「そりゃ～」

子育て広場

<足羽東保育園>

今年度より、月一回地域の入園前のお子さんをお招きし、子育て広場を開催しております。七月は七夕祭りを園児と一緒に楽しみました。七夕の話を聞いたり、笹飾りを作って飾ったりと楽しい時間を過ごされていました。

親子ふれあい日帰り旅行

<足羽学園>

六月八日(日)に織田ファミリー農園で甘～いイチゴ狩りをして、服が赤く染まるほど食べました。それから越前陶芸村で湯飲みに絵付け体験、そして苦～いお抹茶を飲みました。久しぶりの正座で足がしびれました。
利用者はもちろん、家族や職員も余りの楽しさにはしゃいでしまいました。

苦いし、しびれるし～

流しそうめん

<愛全園>

七月二日、夏の風物詩、流しそうめんに挑戦しました。

やったあ！大成功☆☆☆

平成19年度社会福祉法人足羽福祉会の財務諸表を公開します。

平成20年5月24日開催の理事会・評議員会に承認されたものを簡略化した内容となっております。

貸　借　対　照　表　（平成20年３月31日現在）

科　　目	金　額（千円）	科　　目	金　額（千円）
資　産　の　部		負　債　の　部	
流　動　資　産	702,810	流　動　負　債	82,089
固　定　資　産	2,223,097	固　定　負　債	193,186
基　本　資　産	1,486,313	負債の部合計	275,275
その他の固定資産	736,784	純　資　産　の　部	
		基　本　金	155,158
		国庫補助金等特別積立金	839,314
		その他の積立金	481,621
		次期繰越活動収支差額	1,174,539
		（うち当期活動収支差額）	87,273
		純資産の部合計	2,650,632
資産の部合計	2,925,907	負債及び純資産の部合計	2,925,907

脚注　減価償却費の累計額　1,525,668（千円）
　　徴収不能引当金の額　　514（千円）

事業活動収支計算

自　平成19年４月１日　至　平成20年３月31日

科　　目	金　額（千円）
授産事業収入	22,149
授産事業支出	18,915
授産事業活動収支差額	3,234
事業活動収入	1,706,699
事業活動支出	1,624,997
事業活動収支差額	81,702
事業活動外収入	251,237
事業活動外支出	249,688
事業活動外収支差額	1,549
経常収入差額	86,485
特別収入	60,265
特別支出	59,477
特別収支差額	788
当期活動収支差額	87,273
前期末繰越活動収支差額	1,068,665
当期末繰越活動収支差額	1,155,938
その他の積立金取崩額	82,000
その他の積立金積立額	63,400
次期繰越活動収支差額	1,174,583

資　金　収　支　計　算

自　平成19年４月１日　至　平成20年３月31日

科　　目	金　額（千円）
授産事業収入	22,149
授産事業支出	18,915
授産事業活動資金収支差額	3,234
経常収入	1,548,141
経常支出	1,405,520
経常活動資金収支差額	142,621
施設整備等収入	60,253
施設整備等支出	136,606
施設整備等資金収支差額	△　76,353
財務収入	82,000
財務支出	75,566
財務活動資金収支差額	6,434
当期資金収支差額計	75,936
前期末支払資金残高	544,785
当期末支払資金残高	620,721